



成人期



記載例

プロフィール表

<様式D-1> ①

記入日(年 月 日)

記入者()

更新日(年 月 日)

1. 基本情報

ふりがな	しずおか たろう				昭和
氏名	静岡 太郎		男・女	生年月日	平成 ●●年 ●月 ●日 (●●歳) 令和
住所	〒●●●●-●●●● 静岡市○区○○丁目○番○号 コーポ○○○号			連絡先	自宅 F A X 携帯 ●●●●-●●●●-●●●● メール
家族構成					
	氏名	同居 別居	続柄	生年月日	所属
	○○ △△	同・別	父	昭和△△年△△月△△日	
	○○ □□	同・別	母	昭和□□年□□月□□日	
	○○ ◇◇	同・別	姉	昭和◇◇年◇◇月◇◇日	
		同・別			

2. 診断について (有・無)

診断時期	年 月 頃
診断機関	◇◇クリニック
診断名	自閉スペクトラム症、ADHD

3. 手帳の取得について (有・無)

身体障害者手帳	級 (年取得)
療育手帳	A ・ B (年取得)
精神障害者保健福祉手帳	1級 ・ 2級 ・ 3級 (年取得)

成人期

プロフィール表

<様式D-1> ①

記入日(年 月 日)

記入者()

更新日(年 月 日)

1. 基本情報

ふりがな				昭和
氏名		男・女	生年月日	平成 年 月 日 (歳) 令和
住所	〒		連絡先	自 宅 F A X 携 帯 メー ル
家族構成				
氏 名	同居 別居	続 柄	生年月日	所 属
	同・別			

2. 診断について (有・無)

診断時期	年 月 頃
診断機関	
診断名	

3. 手帳の取得について (有・無)

身体障害者手帳	級 (年取得)
療育手帳	A ・ B (年取得)
精神障害者保健福祉手帳	1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 (年取得)

履歴(学校・職歴など)についてお書きください

<様式D-1> ②

区 分	こども園・学校名・会社名	在籍年数	在籍期間
こども園 保育園 幼稚園		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
小学校		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
中学校		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
高 校		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
大 学		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
専門学校		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
就職先など		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月

成人期

記載例

相談シートI

・<様式D-2><様式D-3>の記載例は、支援者が本人と面談しながら記載することを想定しているため専門用語が多く使用されています。

<様式D-2> ①

記入日(年 月 日)

氏名	相談者	(続柄:)
支援者	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">大学卒業後1年経過(23歳)の事例</div> (支援機関:)	

1. 相談内容(該当するものに○をつけてください)複数選択可

<input type="radio"/>	社会性の特性	<input type="radio"/>	コミュニケーションの特性	<input type="radio"/>	想像力の特性
<input type="radio"/>	不注意・実行機能の特性	<input type="radio"/>	多動性の特性		衝動性の特性
	知能の特性(LD含む)		感覚の特性	<input type="radio"/>	感情のコントロールの特性
	身体・運動の特性	<input type="radio"/>	二次障害・依存障害の特性		空間認知の特性

2. 相談したいことを具体的に書いてください(3つまで)

	相談したいこと	今現在の対応	アドバイス
1	忘れ物を予防する方法について	・持って行く物を前日に用意する	<ul style="list-style-type: none"> ・支度を事前に行う ・持ち物のチェックリストを作って確認する ・忘れて困るものは、スペアを用意しておく
2	不注意特性への対処について	・集中するように意識をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・不注意は、情報(刺激)を取り込みすることが背景にある。そのため、 unnecessaryな道具を出さず、視界に入る人を減らし、 unnecessaryな音が聞こえにくい環境で作業することを提案。 ・主治医から服薬を提案された場合には、主治医と相談することを勧めた。
3	障害者枠での就職について	・主治医と相談し、主治医からも障害者枠での就職を勧められた	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者枠での就職には、障害者手帳が必要である。 ・本人の診断では、精神保健福祉手帳が取得できる可能性が高いため、主治医に障害者手帳申請用の診断書を作成してもらうことを勧めた。 ・手帳が取得できた後に、ハローワークにて登録・相談を行う。 ・手帳申請中に、今後利用する支援機関を相談する。

相談シートI

<様式D-2> ①

記入日(年 月 日)

氏名		相談者	(続柄:)
支援者	(支援機関:)		

1. 相談内容(該当するものに○をつけてください)複数選択可

社会性の特性		コミュニケーションの特性		想像力の特性
不注意・実行機能の特性		多動性の特性		衝動性の特性
知能の特性 (LD含む)		感覚の特性		感情のコントロールの特性
身体・運動の特性		二次障害・依存障害の特性		空間認知の特性

2. 相談したいことを具体的に書いてください(3つまで)

	相談したいこと	今現在の対応	アドバイス
1			
2			
3			

記載例

3. 相談のまとめ

(1) 本人の状況と特性について

・<様式D-2><様式D-3>の記載例は、支援者が本人と面談しながら記載することを想定しているため専門用語が多く使用されています。

<様式D-2> ②

小学生の頃から忘れ物が多く、ケアレスミスもあった。友達の冗談を字義通りに解釈する、自分が一方的に話すといったことがあり、雑談が苦手だった。

掃除の際、先生から「ここきれいにしておいて」と言われたが、どの程度きれいにすればいいか分からず固まってしまったことがある。

授業の予定が変更になることや初めての場所や行事は不安が高かった。

大学1年時に精神科を受診し、ADHDの不注意優勢型、自閉スペクトラム症と診断を受ける。就職活動を行ったが、面接試験で質問の意図が汲み取れなかったり、考えがまとまらず回答できないことが続いた。就職活動が上手くいかず、不眠などの症状が現れたため精神科へ受診したところ、ADHD、自閉スペクトラム症、うつ病と診断された。

現在は障害者枠での就労を目指しているが、障害者手帳は取得していない。

自分はどのような作業が得意なのか分からず、求人票を見ても選ぶことができない。

現在はうつ病の治療もしており、ストレスマネジメントなどの方法を知りたい。

ビジネスマナーの習得や仕事のスキルを高めたい。

(2) 本人の状況と特性に合わせた対応

不注意への対応としては、音や人、文字、物などの刺激を少なくする。服薬については主治医と相談を行う。

曖昧な指示や含みのある言い回しは分かりにくいいため、短く具体的な言葉で指示を出す。指示はメモとして書いて渡すか、ホワイトボードのような見える場所に書いて本人が確認できるようにする。

作業方法の説明は、デモンストレーションを見せながら、実況中継（今は〇〇だから△△するよ）のように教えていく。マニュアル化も有効。

作業面における特性の現れを分析する。状況を整理する知識・スキルの向上。

ストレスマネジメントスキルの習得。

(3) 相談内で以下の支援機関について紹介説明しました

ハローワークの就労支援ナビゲーター

障害者職業センター

就労移行支援事業所

障害者就業・生活支援センター

記入用

3. 相談のまとめ

< 様式D-2 > ②

(1) 本人の状況と特性について

(2) 本人の状況と特性に合わせた対応

(3) 相談内で以下の支援機関について紹介説明しました

成人期

記載例

相談シートⅡ

・＜様式D-2＞＜様式D-3＞の記載例は、支援者が本人と面談しながら記載することを想定しているため専門用語が多く使用されています。

＜様式D-3＞ ①

記入日（ 年 月 日）

氏名		相談者	
支援者	大学卒業後1年経過（23歳）の事例		（続柄： ）
			（支援機関： ）

	行動と特性	支援内容
社会性の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・他者に対しての情緒的な交流ができない。 ・公共の場所とプライベート空間の区別が曖昧で、スマートフォンの音楽をバスの中で流す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルストーリー、コミック会話の活用 ・公共の場所で認められること、プライベート空間で認められることを書きだして比較する。
コミュニケーションの特性	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめて相手に伝えることができない。 ・自分の知っていることは一方的にしゃべり続ける。 ・相手の表情を読み取れない。 ・グループで話し合う時、会話に入れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マインドマップの活用 ・会話のキャッチボール（SST教材）の紹介
想像力の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・予定の急な変更が苦手。 ・他者が何に注意を向けているかを読み取れない。 ・状況の把握が苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定が変更されることを想定内にする ・実況中継 ・注意喚起
不注意・実行機能の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵、財布、スマートフォンなどを失くす。 ・文章の誤字、脱字が多い ・提出期限に遅れる ・3つ以上の指示を受けると1つは忘れる ・仕事の優先順位を考え、段取りを組むことが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重品に紛失防止装置をつける（離れるとアラームが鳴る、GPSで探せる） ・指示をボイスレコーダーで録音、メモを特定の場所に貼る ・仕事の優先順位をつけるためのマニュアルをつくる
多動性の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・質問について回答を考えていると、思い浮かんだ内容に意識が移っていく ・貧乏ゆすりをする ・30分以上、椅子に座っていると席を立ちたくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・考える議題を目立つように紙やホワイトボードに書き、常に議題を見て意識を戻せるようにする ・長時間座って作業するよりも、比較的動きがある職種を検討する

成人期

記入用

だれが…

支援者が

いつ…

面談時に支援者と一緒に記入

相談シートⅡ

<様式D-3> ①

記入日(年 月 日)

氏名	相談者	(続柄:)
支援者	(支援機関:)	

	行動と特性	支援内容
社会性の 特性		
コミュニ ケーションの 特性		
想像力の 特性		
不注意・ 実行機能の 特性		
多動性の 特性		

成人期

記載例

相談シートⅡ

・<様式D-2><様式D-3>の記載例は、支援者が本人と面談しながら記載することを想定しているため専門用語が多く使用されています。

<様式D-3> ②

衝動性の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・思ったことを口にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクをし、思ったことが声に出してしまったとしても聞こえにくくする。
知能の特性 (LD含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・書字に苦手意識がある ・レポートなどの長い文章を書くことが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを利用して書字の機会を減らす ・スマホの録音機能を使い、文章を考えながら録音する。次に、録音を聞きながら文章を書き起こす。(テキスト化するソフトを使用することも有効)
感覚の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚過敏があり、街中のザワザワとした音が苦手 ・人混みや街中を通る際には、音楽を聞きながら足早に通りすぎる 	<ul style="list-style-type: none"> ・音の原因から物理的な距離をとるか、ノイズキャンセリング機能のあるヘッドフォン、イヤーマフなどを使って音を遮断する。
感情のコントロールの特性	<ul style="list-style-type: none"> ・不安が大きくなると周囲が自分を批判的に捉えていると考える ・ストレスマネジメントが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実をもとに整理をする ・定期的にかウンセリングや相談を利用して整理を行う ・ストレスマネジメントの講座に参加する
身体・運動の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・手先の不器用さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・不器用を克服するのではなく、細かな作業が必要な職種や作業内容は避ける
二次障害・依存障害	<ul style="list-style-type: none"> ・うつ病 ・自己評価が低い ・学習性無力症 	<ul style="list-style-type: none"> ・うつ病の治療については主治医の指示に従う ・自分にできていることを再確認できるようにカウンセリングを受ける ・成功体験を積む
空間認知の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・枠や罫線がない用紙に字を書くと、字が歪む 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンで代替える ・下書きをパソコンで作ってから書き写す

記入用

相談シートⅡ

< 様式D-3 > ②

衝動性の特性		
知能の特性 (LD含む)		
感覚の特性		
感情のコントロールの特性		
身体・運動の特性		
二次障害・依存障害		
空間認知の特性		

成人期

〈例〉

- ・沢山の人がいるところが苦手、辛い。
- ・他の人に話しかけることが苦手。
- ・いじめにあった。
- ・言われたとおりにやったつもりなのに、注意される事が多く辛い。
- ・就職したいが適当なところが見つからない。
- ・家から出たくない。
- ・金銭管理が苦手。上手にできない。
- ・他の人とトラブルになりやすい。

〈例〉

- ・学歴
- ・不登校などの経験の有無・時期
- ・学校で得意だったこと、苦手だったこと
- ・就労の経験と経過
- ・得意なこと、苦手なこと
- ・趣味としてやっていること、余暇の過ごし方など
- ・やってみたい仕事、希望すること
- ・やりたくない仕事

記入用

その他の情報

< 様式D-3 > ③

成人期

《オプションシート》

移行支援計画書<個別の教育支援計画I>

記入日(年 月 日)記入者()

氏名() (男・女) 生年月日()年()月()日(歳)	
住所 〒() 静岡市()区()	
保護者氏名() 続柄() 電話番号()	
<現在の様子>	
特性・行動面	
コミュニケーション	
友人関係	
学習面	
生活面	
その他	
<サポート内容案>	
<他機関との連携>	

オプションシート

同意書

(学校・サポート機関名)

様

(氏名) の「サポートファイル」に記載されている個人情報を貴機関へ提供し及び貴機関において活用すること(並びに関連する情報を貴機関において収集すること)に同意いたします。

ただし、その活用(及び収集)は、「サポートファイル」の作成のために限るものとします。

年 月 日

保護者住所:

保護者氏名:

(氏名を自署してください。)

本人住所:

本人氏名:

(氏名を自署してください。)

※本人が成人(満18歳以上)で、かつ、自ら署名又は押印できる場合は、本人の欄への記入をお願いします。

同意書

(学校・サポート機関名)

様

(氏名) の「サポートファイル」に記載されている個人情報を関係機関へ提供し及び関係機関において活用すること(並びに関連する情報を貴機関において収集すること)に同意いたします。

ただし、その提供は、提供しようとする機関ごとに本人並びに保護者の了承を得るものとし、本人及び保護者への支援に資する目的に限るものとします。

年 月 日

保護者住所:

保護者氏名:

(氏名を自署してください。)

本人住所:

本人氏名:

(氏名を自署してください。)

※本人が成人(満18歳以上)で、かつ、自ら署名又は押印できる場合は、本人の欄への記入をお願いします。

就労パスポートとは

障害のある方が働く上での自分の特徴や希望する配慮などについて、支援機関と一緒に整理し、事業主などにわかりやすく伝えるためのツールです。



最終更新日		年 月 日
氏名	障害名 (診断名)	

1 職務経験 (これまで職場や、福祉サービス事業所などで経験した職務または作業とその期間を記入。(受雇期間のものも含む))

2 仕事上のアピールポイント (職場などでできていた(できていない)ことや自分の強みが発揮できそうな職種・作業内容、培ってきたスキルを記入)

3 体調管理と希望する働き方

自分の特徴 ※該当するものに□ (複数選択可)	
ストレス・疲労	<input type="checkbox"/> ストレスなどを感じやすい状況・場面 <input type="checkbox"/> 特に調子を崩すきっかけとなるものを記入 <input type="checkbox"/> ストレスなどのサイン <input type="checkbox"/> 自分で取り組むこと <input type="checkbox"/> 配慮してほしいこと
通勤のための休暇	<input type="checkbox"/> 希望なし <input type="checkbox"/> 希望あり (頻度・曜日・時間帯)
服薬管理のための配慮	<input type="checkbox"/> 希望なし <input type="checkbox"/> 希望あり ※具体的内容→

1日の勤務時間	<input type="checkbox"/> フルタイム () <input type="checkbox"/> フルタイム以外 () <input type="checkbox"/> フルタイム以外から始めて段階的に増やしたい ※具体的希望 ()
1週間の勤務日数	<input type="checkbox"/> 当初から固定 (週 日勤務を希望) () <input type="checkbox"/> 勤務日数を段階的に増やしたい(具体的希望→) ()
希望する働き方	避けたいものは <input type="checkbox"/> 音(機械音、人の話し声など) <input type="checkbox"/> 頻度 <input type="checkbox"/> におい <input type="checkbox"/> 塵芥作業 <input type="checkbox"/> 高所 <input type="checkbox"/> 閉所 <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> その他 ()
希望する配慮	<input type="checkbox"/> 希望する配慮
休憩の取方	<input type="checkbox"/> 特かな場所・音量がよい <input type="checkbox"/> 一人で過ごすほうがよい <input type="checkbox"/> 特に希望なし <input type="checkbox"/> その他 ()
業務量や作業内容・方法などの調整	<input type="checkbox"/> 希望なし <input type="checkbox"/> 希望あり ※具体的内容→
業務を安定して遂行するために必要な機器、設備の調整	<input type="checkbox"/> 希望あり ※具体的内容→
自由記述	

4 コミュニケーション面

自分の特徴 ※該当するものに□ (複数選択可)	自由記述
4-1 相手のやり取り	<input type="checkbox"/> 相手の話の内容、表情・身振り、声の調子をもとに読みとることができる <input type="checkbox"/> 読みとりは苦手だが、質問して相手の気持ちや考えを推察することができる <input type="checkbox"/> 気持ちや考えは、言葉で明確に伝えてもらうほうがわかりやすい

5 作業遂行面

指示内容などの理解 ※該当するものに□ (複数選択可)	自由記述
5-1 指示内容	<input type="checkbox"/> 判断基準を具体的に伝えてもらえる(「あれこれ」「だいたい」などの抽象的な表現ではなく、「いつまで」「何を」「どの程度」などを具体的に示してもらえる) <input type="checkbox"/> メモが詳しい(スピードで読んでもらえる) <input type="checkbox"/> ポイントを具体的に「言葉」に列挙してもらえる(例: 口頭説明ではなく「ポイント」として記入し、文字での確認はいつでもできる) <input type="checkbox"/> 一度の指示数は限定してもらえる
5-2 理解しやすい方法	<input type="checkbox"/> 口頭説明 <input type="checkbox"/> 見本の提示 <input type="checkbox"/> 文章での説明 <input type="checkbox"/> 写真・図・絵での説明 <input type="checkbox"/> 作業手順書・マニュアル
5-3 指示・報告の相手	<input type="checkbox"/> 作業を進める時に誰とやりとりのかが具体的にわかっている <input type="checkbox"/> 2人以上から指示を受けた場合、適切に対応できる <input type="checkbox"/> 指示・報告のやりとりは特定の個人に対応してもらえる <input type="checkbox"/> 担当者不在の場合、代わりに質問・報告などをすべき相手がわかっている
自分で対処していること	
優先順位づけ、予定変更への対応 ※該当するものに□ (複数選択可)	自由記述
5-4 2つ以上の指示への優先順位づけ	<input type="checkbox"/> 経験のある作業であれば、自力で対応できる <input type="checkbox"/> 経験の有無にかかわらず具体的な助言がある <input type="checkbox"/> 今取り組んでいる作業が終わってから次の指示をしてももらえる
5-5 作業途中での予定変更への対応 ※指示・報告の相手、作業内容、作業ペースの調整、作業ペースの調整	<input type="checkbox"/> 経験のある作業であれば、自力で対応できる <input type="checkbox"/> 具体的な対応方法を教えてくれる人がいれば対応できる <input type="checkbox"/> 予定変更があることを早めに伝えてもらえる <input type="checkbox"/> 今取り組んでいる作業が終わってからであれば予定変更にも対応できる
自分で対処していること	
正確さ、作業ペース ※該当するものに□ (複数選択可)	自由記述
5-6 作業の正確さ	<input type="checkbox"/> 作業速度よりも正確さを優先してもらえる (→期間 □ 作業に慣れるまで □ 作業に慣れた後も当分の間) <input type="checkbox"/> 正確な判断基準、効果的・効率的な確認方法などは具体的に教えてもらえる <input type="checkbox"/> 当初、正確にできていない作業を指摘してもらえ、(正しくできていることがわかったら、その後安定して作業に取り組める)
5-7 作業ペース	<input type="checkbox"/> 周りのペースに合わせて作業ができる(例: 流れ作業) <input type="checkbox"/> 比較的自分のペースで取り組める作業のほうが多い(例: 単独作業) <input type="checkbox"/> 望ましい作業速度や改善のコツなどは具体的に教えてもらえる
自分で対処していること	

安定した作業、質問・報告、共同作業など ※該当するものに□ (複数選択可)	自由記述
5-8 安定した作業の実施	<input type="checkbox"/> 終日安定して作業に取り組める <input type="checkbox"/> 集中力を維持するための取り組み・工夫を持っている →取り組み・工夫の内容 <input type="checkbox"/> 途中で小休憩があれば1日 1時間、安定して作業ができる →休憩のタイミング・頻度(例: 午前・午後:1回5分ずつ、90分ごと15分など)
5-9 作業に合わせた相談・質問・報告	<input type="checkbox"/> 経験のある作業であれば、自力で対応できる <input type="checkbox"/> 未経験の作業の場合、タイミング・内容・相手などをあらかじめ教えてもらえる <input type="checkbox"/> 担当者不在の場合の質問などの方法をあらかじめ教えてもらえる
5-10 他者との共同作業	<input type="checkbox"/> まわりの人と同時打ち合わせしながら対応できる <input type="checkbox"/> 役割分担が具体的にわかれば対応できる <input type="checkbox"/> リーダーの指示がその都度あれば対応できる <input type="checkbox"/> 自分のペースで取り組むことができれば対応できる
自分で対処していること	
結果の振り返り、目標設定 ※該当するものに□ (複数選択可)	自由記述
5-11 結果の振り返り、目標設定	<input type="checkbox"/> 定期的にある(例: 1ヶ月後) () <input type="checkbox"/> 定期的にある(例: 1ヶ月後) () <input type="checkbox"/> 特に希望なし ※モチベーションの維持・向上のために知りたいことがある場合は記入
自分で対処していること	

就職後の自己チェック
 (「4 コミュニケーション面」、「5 作業遂行面」の記載内容のうち、変化したと感じる項目(番号)を記入→職場・支援機関の担当者と一緒に振り返り)

チェック時期	変化したと感じる項目
就職 () 月 後	
就職 () 月 後	
就職 () 月 後	
就職 () 年 後	

(参考: 支援機関) (利用している就労支援機関、福祉機関、医療機関などのうち、現場定着にとって重要と考えており、情報共有をおきたい機関を記入)

支援機関名	連絡先	利用している支援の内容

厚生労働省のホームページはこちら

ペアレントメンターの声から
生まれました！

育てにくさを感じたら

『にじいろ子育てハンドブック』

0歳～18歳までの支援

発達凸凹の子どもを育ててきた静岡市内のペアレントメンター（※）と専門家と一緒に作成した子育てハンドブックができました。

個性的なお子さんを持つ先輩お母さんたちが知りたかった情報、困ったときの相談先等、子供の成長に応じた様々な情報がまとめられています。（メンターによるリアルな体験談も掲載！）

お子さんの発達に不安のある方、対応に悩まれている方、是非お手にとってみてください。



第2巻

『発達凸凹 にじいろハンドブック ～18歳からの支援～』も発行予定

※ペアレント・メンターとは…

自らも発達障害のある子育てを経験し、かつ相談支援に関する一定のトレーニングを受けた親を指します。当センターではペアレント・メンターの養成研修も行っています。詳細はきらりHPをご覧ください。

ハンドブックのWeb版はこちら↓



(きらりHP)

【お問い合わせ】 静岡市発達障害者支援センター「きらり」

〒422-8006 静岡市駿河区曲金五丁目3番30号（静岡医療福祉センター4F）

TEL: 054-285-1124 FAX: 054-285-1125

URL: <https://www.shssc.jp/>

このファイルに関するお問い合わせ

〒422-8006 静岡市駿河区曲金五丁目3番30号

静岡市発達障害者支援センター「きらり」

電話 054-285-1124 FAX 054-285-1125

<http://www.shssc.jp/>



〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

静岡市 保健福祉長寿局 健康福祉部 障害福祉企画課

電話 054-221-1198 FAX 054-221-1494



なまえ